CONTENTS

No.283　2023年12月号　草月指導者連盟機関誌

2　だから、おしゃべりはやめられない　第91回「姉と私」

4　東寺献花／東大寺献花

6　第104回草月いけばな展

8　勅使河原茜の花

12　支部活動報告　東京南支部展／大阪支部展／東京西支部展／兵庫県支部展

16　百花万葉

23　学校いけばな

24　レビュー　第56回日本いけばな芸術展／草月の秋2023／女子美術大学特別授業／平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで／YAMANAKA花回廊 Part 19

27　インフォメーション　本部教室／草月WEST

32　カレンダー

『水に色をいける』
家元が水にインクを落とし色をいける。
目まぐるしく変化する色彩、
その一瞬を切り取るシリーズです。

表紙作品＝勅使河原茜
表紙アートディレクション＝永井裕明（N.G.inc.）
表紙デザイン＝前田由貴（N.G.inc.）
表紙写真＝金子親一
印刷＝東洋紙業株式会社
制作協力＝丸紅フォレストリンクス株式会社

勅使河原茜が新年をいける！
臨場感ある「初いけデモンストレーション」を生配信。
配信だからこそ楽しめる世界へ、ぜひご一緒に。

2024 1/13 sat 生配信

茜家元と迎える新年の会2024

Peatixのサイトにて受付中 ▶

発行日＝2023年12月1日　編集・制作＝草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室　発行＝一般財団法人草月会
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21　TEL＝03-3408-1154　FAX＝03-3405-4947　E-mail＝members@sogetsu.or.jp

勅使河原 茜

姉と私

駆け抜けるように過ぎていった2023年が、もうすぐ終わろうとしています。コロナ禍が落ち着き、待ってましたとばかりに様々なイベントが行われたこの1年。私も息つく間もないほど色々な場へ出向きました。大変なこともありましたが、久々に皆さんにお会いできることが何より嬉しく、終わった後は毎回充実感でいっぱいでした。

プライベートでも引っ越しという大きなイベントがありました。最中は諸々の手続きや片付けに翻弄されましたが、姉とも協力しながらなんとかやり遂げました。皆さん既にご存じかと思いますが、私には季里という4歳上の姉がいます。高校からアメリカに留学し、そのまま進学。パンクバンドを結成して音楽活動をしたり、ガゴシアン・ギャラリーに勤務するなど、ニューヨークを拠点に活動していました。1985年に草月ニューヨーク支部長に就任。その後、北米事務局長を務め、現在は日本で「草月インターナショナルディレクター」として活動しています。

姉妹と言えど、姉は寒がりで私は暑がり、姉は下戸で私はお酒が好き……等々、色々なことが正反対。中でも一番違うのは性格でしょうか。内向的だった私に対し、姉はとにかく積極的。海外で広い世界を見てみたいという気持ちも早くからあったのでしょう。15歳にして、あっという間にアメリカに行ってしまいました。留学先に日本人は2人しかいなかったそうで、つらいこともたくさんあったはずですが、私が知る限り家族に弱音を吐いたことは一度もなかったように思います。音楽、アートなど多方面に携わり、英語を自在に話す姉は、私の2人の息子から見て憧れだったようで、小さいころは「季里ちゃん、かっこいい！」と言っていました。

姉は季刊『草月』で、アーティストをはじめ様々な方にインタビューを行う連載ページを担当。その連載では、アメリカの「Inside the Actors Studio」というインタビュー番組と同じく、ゲストに質問をするのが恒例となっています。今回は私がその質問に答えてみたいと思います。

1——好きな言葉は？
笑顔。

2——嫌いな言葉は？
嫉妬。するのも、されるのも面倒なので。

3——気持ちを高揚させるものは？
やっぱり自分が好きなことをしている時。いけこみの最中も、すごくテンションが上がります。

4——うんざりすることは？
汗をかくこと。暑さだけでなく、緊張でも汗をかきます。本当は冬より夏のほうが好きなくらいなのに、これさえなければもっと快適に過ごせるのですが……。

5——好きな音は？
リズムをとりたくなるようなノリノリな音楽や、落ち着いたバラード音楽。どちらも大好き。鳥のさえずりや波の音など自然の音も好きですが、機械から流れてくる作られたヒーリング音は苦手です。

6——嫌いな音は？
遠慮のない大きな咳、くしゃみ、鼻をすする音など。出るのは仕方がないとして、周りへの配慮はほしいです。

7——好きな悪態（悪い言葉）は？
車の運転をしていると、ルールやマナーを守らない人に出くわすをこともしばしば。そんなときは、こちらに書くのは少々憚られるような言葉で悪態をつくこともあります（笑）。

8——今の職業以外でやってみたい職業は？
サービス業。小さいころはウエイトレスさんや、百貨店の店員さんになりたいと思っていました。引っ込み思案だったからこそ、憧れたのかもしれません。百貨店で贈答品がきれいに包まれる様子を見るのも好きで、よく姉妹でお店やさんごっこをしたものです。

9——絶対にやりたくない職業は？
（そもそもなれないと思いますが）スポーツ選手。365日、常に自分を律して、鍛錬し続けなければならないので、私には無理だなと……。

10——天国に着いたとき、神になんと言われたい？
「よくがんばったね」。

アメリカの番組だけあって、質問の内容も少し独特で、楽しみながら答えることができました。季刊『草月』の姉の連載も、ぜひご覧になってみてください。

私の右隣が姉の季里。
2019年ハワイでの北米セミナーなど海外での大きなイベントでは、
私のデモンストレーションの通訳を担当しています。

世界遺産である東寺の金堂前で行われた献花の様子。

真言宗立教開宗1200年慶讃大法会法要
東寺献花

2023年10月8日／東寺（真言宗総本山 教王護国寺）

安寧と幸せを願って

２０２３年は弘法大師空海が生誕して１２５０年、そして真言宗が空海によって立教開宗されて１２００年を迎えた年。これを記念して、東寺（京都・教王護国寺）にて10月８日から14日の期間に法要が行われ、８日には草月流が献花を奉仕した。

東寺では草月の歴代家元が献花を行っており、茜家元は今回が初となる。関西の支部より岡本青珠（本部講師）、平石丹珠萠（本部講師）、森英琴（前京都支部長）、岡慶民（京都支部長）、伴友桂（京都副支部長）の五氏が随行し、たくさんの参列者が見守る中、安寧と幸せを願った献花は厳かに行われた。また、10月８日から31日まで金堂内には京都支部の作品が展示された。

家元によって奉納されたいけばな。

東大寺の大仏殿前で行われた献花の様子。法要はニコニコ動画でライブ配信された。

東大寺開山良弁僧正1250年御遠忌法要
東大寺献花

2023年10月15日／東大寺（華厳宗大本山 金光明四天王護国之寺）

天平文化に思いを馳せる

奈良・東大寺の初代別当（住職）で、聖武天皇の同寺建立に尽力した良弁（ろうべん）僧正の１２５０年御遠忌（ごおんき）法要が、10月14日から16日の３日間行われ、14日に草月流が献花を奉仕した。

東大寺での茜家元による献花は、２００６年「本願聖武天皇１２５０年御遠忌法要」、２０１０年「光明皇后１２５０年御遠忌法要」に続き３回目。岩本知星（財団理事）、武藤星芳（本部講師）、福井靖星（奈良県支部長）、早川邦篁（前奈良県支部長・助手）、西本江星（奈良県副支部長）の五氏が随行した。途中、大仏殿の屋根から蓮の花びらを形どった散華（さんげ）がまかれると、会場は荘厳な雰囲気に包まれた。献花のほか、献茶、伎楽などが奉納され、前夜までの雨天が嘘のような陽気のもと、華やかに中日の幕を閉じた。

大仏殿前に奉納されたいけばな。

第104回草月いけばな展
「What's SOGETSU? 草月ってなんだろう?」

2023年10月25日～30日／日本橋高島屋S.C.

花を通じて自分を知る

草月流最大の展覧会、第104回草月いけばな展が日本橋高島屋S.C.にて開催され、前期・後期合わせて514名が出品した。

前回に引き続き、テーマは「草月ってなんだろう?」。出品者一人ひとりが自分にとって草月とは何なのかを問い直す機会となった。家元は次のように述べている。

「草月とともに歩んできた年月を見つめ直す時、その視線の先には〝私ってなんだろう?〟という問いも浮かび上がってくるに違いありません。花を通じて自分を知ろうとすること。花との関わりの中でさまざまな人々や社会との関係を見つめ直していくこと。この終わりのない営みを2027年の創流100周年を前に改めて意識することは、未来への道を開く契機となると強く信じています。」

花に寄り添い、花とともに生きてきた作家たちの作品群は、6日間で2万人を大きく上回る来場者を魅了した。

季刊『草月』2024年春号（2024年3月1日発売）では第104回草月いけばな展を特集。特別エリア「線色塊」の全作品を掲載予定です。どうぞお楽しみに!
［草月出版］フリーダイヤル:0120-087-202

1

2

3

4

新人賞作品

平野博美（前期）

椿の枝、根、葉、実、そして粉末にした種と、花材を徹底的に分解し再構成した作品。鳥の羽によって華やかさと軽やかさがプラスされている。

勅使河原 茜の花

Original Works by Akane Teshigahara

力強く、勢いのある苔梅に、ほんのりとやわらかな風情をもつろうばいを合わせて。
互いの線が共鳴し、独特な空間が生まれました。

素材：苔梅、ろうばい、葉ぼたん、水引　花器：陶器花器（加藤清之）　サイズ：163×120×120cm

ウィンターベリーの赤い実と水引を関わらせてみました。
水引はお正月ならではの素材。添えものとしてではなく前面に出し、挑戦的な使い方を試みました。

素材：ウィンターベリー、胡蝶蘭、水引　花器：ガラス花器（岩田藤七）　サイズ：104×70×57cm

Photo ／ Chukyo Ozawa

面と線で構成しました。クリスマス花と言うと、まず赤や白を連想しますが、私は青を使うのも好き。
清廉な青が、聖夜の粛々とした空気を、いっそう研ぎ澄ませてくれるようです。

花材：ひいらぎなんてん、着色つるうめもどき、グロリオーサ　花器：ガラス花器（岩田藤七）　サイズ：138×80×89cm

白いガラス花器のふんわりとした雰囲気をいかした作品です。
クリスマスらしい花材２種を使い、浮遊感を意識しながらいけました。

花材：ポインセチア、西洋ひいらぎ　花器：ガラス花器　サイズ：60×115×76cm

東京南支部展

「花・讃・歩（はなさんぽ）」（家元出品）

9月14日～19日
玉川髙島屋 S・C
アーレーナホール

1 着色竹、桐、柿、ビブルナム・コンパクター、ななかまど、あせびを使用し、自作陶器花器にいけた家元作品。
2 泉知萩支部長の作品。
3 ～ 5 会場風景。
6 支部会員が力を合わせて制作した竹のアーチで来場者を迎えた。

花のある空間を楽しむ

「草月の秋2023」開催中の玉川髙島屋にて、家元出品のもと東京南支部展が開催された。

「一般の方に気軽にいけばなを楽しんでもらいたい」「社会や日常、コロナ禍で疲弊した心身にひと時の安らぎを感じてほしい」という思いから、タイトルを「花・讃・歩」とし、花のある空間で、散歩やおしゃべりを楽しみながら、のんびり過ごしてもらえる公園をイメージした会場構成とした。

家元による大作を会場のシンボルとし、出品者149名が、台上がり、床上がり、吊り花、テーブル花等、様々な形態の作品を展示。また、今春に開催した支部主催研究会で習得した竹制作・合作を発表する絶好の機会と考え、支部会員による竹のアーチで来場者を温かく迎えた。

大阪支部展

Hana～心・遊・響～

9月15日～18日
近鉄アート館

1 支部会員による合作。2 島田真美楓支部長の作品。3 岡本青珠府委員の作品。
4 井上草勝さん・小林郷清さん・田渕章流さん・和田紀瓶さんによる合作 。5 会場風景。
6「アートとの語らい」をテーマとした作品。7「ひかりの Hana」のコーナー。

初めての会場で

周辺に通天閣などの名所を望む近鉄アート館にて大阪支部展が開催された。この会場での支部展は初。いけばなや草月を知らない方にも興味を持ってもらいたいという観点から会場を選定し、会期もこれまでの倍に延ばした。

エリアごとにタイトルから一字を使い、「心～伝える」、「遊～ひかりをいける」、「響～語らう」とテーマを設け、今までにない会場構成や効果的な照明演出などに挑戦。竹のオブジェから光を放つ「ひかりのHana」コーナーでは、研究会を重ね、運営委員が指導できるよう別途勉強会を開くなど、作品完成までのフォロー体制を整えた。

初めての会場で、未知なことも多く、大きな挑戦となったが、支部が一致団結し、喜びに溢れたパワー全開の展覧会となった。

東京西支部展

第27回「よみがえる樹々のいのち」展 Wow! SOGETSU! IN THE PARK!!

10月10日〜11月26日
国営昭和記念公園

1

2

3

4

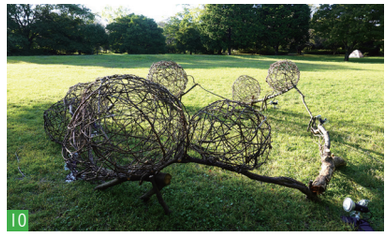
5

6

7

8

9


10

11

1 NISHI 2023「Fun Fun ♪」2 高木グループ「幻想　ベンチパート XXI」3 大久保グループ「茅の輪くぐりで世界の平和」
4 TEAM GOTO「幸せの入口」5 樋口翠翔グループ「骨シリーズ　Part Ⅳ　トリケラトプス」6 NEXT-7「BukuBuku」
7 グループ樹音「moving on」8 SOU SOU「着陸！ 惑星 S」9 グループ Forever「Falling 〜イチョウ並木から〜」
10 グループ泉 -SEN-「環 -WA-」11 SYC 東京1「森のコーヒーカップ」

土に還される前に

1997年から始まり、27回目となる「よみがえる樹々のいのち」展が開催された。

公園内の剪定された樹木や間引いた竹、台風などによる倒木がチップとして土に還される前に、もう一度造形作品としてよみがえらせたいという思いのもと毎年参加している。

多くの人が集う公園での展示は、安全面に最大の配慮をすることが欠かせない。それと同時に親しみのある楽しい作品になるよう心がけ、デザイン、デッサン、素材採取など、約半年の期間をかけて制作に臨んだ。今回も「いつでも、どこでも、だれにでも、そして、どのような素材を使ってもいけられる」という草月の特色を存分に発揮した。さわやかな秋晴れの中、多くの人が公園散策とともに、作品を堪能。夜にはライトアップも行われた。

兵庫県支部展

はな・わたしの原点

10月28日・29日
姫路文学館「望景亭」

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1 大向佐都支部長・延原清裕さんによる合作。
2 〜 9 展示作品。和の空間に作品が映える。会場となった「望景亭」は、姫路出身の実業家・濱本八治郎の別荘として13年もの歳月をかけて建てられた建築物。現在は40畳の和室、茶室、四季折々の表情を見せる日本庭園が残っている。このあと開催される東会場（GALLERY 北野坂）の支部展では一転、洋の空間での展示となる。

未来のいけばな活動へ

大正時代に建てられ、国の登録有形文化財にも指定される姫路文学館「望景亭」にて、兵庫県支部展（西会場）が開催された。

今回の支部展は、出品者や運営委員の負担を少しでも軽減させたいという思いから、西と東の2つの会場で、会期をずらして開催するという初の試みにチャレンジした（東会場は12月9日・10日に、GALLERY北野坂にて開催される）。

テーマは「はな・わたしの原点」。出品者がそれぞれに自分のいけばなの原点は何かを考え、少し過去を振り返ることで、100周年、さらにそれより先の未来のいけばな活動へ繋げていくことを目指した。また、作品とともに出品者のストーリーも掲示。来場者に出品者の思いを含めて作品をお楽しみいただいた。

美術館のリニューアルオープンに

2023年1月6日〜2月25日
静岡／沼津市庄司美術館（モン・ミュゼ沼津）
清水賢子

リニューアルした美術館にいける。人間国宝の方の作品の隣に展示するため、色数を少なくし、落ち着いた正月花に。

新春を寿ぐ―いけばな草月流―MUSUBU結ぶ

2023年1月7日〜29日
栃木（さくら市）／栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 鐵竹堂
草月20名

3回目となるプロデュース依頼で、全室に作品を展示。地元の里山で採取した花材も利用し、草月と地域の人々を結んだ。

恒例の正月花

2022年12月30日〜2023年1月21日
高知／五台山 竹林寺
井上佐芳・濱田青芳・川上湧芳

開創1300年となる竹林寺に恒例の正月花を。展示期間が長く大変だが、やりがいをもって制作している。

スポーツクラブに

2022年1月3日〜8日
東京／セサミスポーツクラブ三鷹
山本永華

新年を祝い、華やかにいける。松、菊、葉ぼたんなどの他、和紙と色紙を使用し、より和の正月花に。

正月装花

2022年12月30日〜2023年1月9日
滋賀（草津市）／ショッピングセンターエイスクエア野外ステージ
柴田花梨・井入愛華・高橋春芭・音羽富士桜

社中展開催をきっかけに依頼を受けての正月花制作。8メートルを超えるステージに大きな竹の作品を展示した。

お寺に正月花

2022年12月30日〜2023年1月21日
東京（練馬区）／圓満山廣徳禅寺
田中草柊

お寺の本堂（写真）、書院の床の間、客室などに正月花をいける。庭の竹や数種の松、白梅、千両、ろうばいなどを使用。

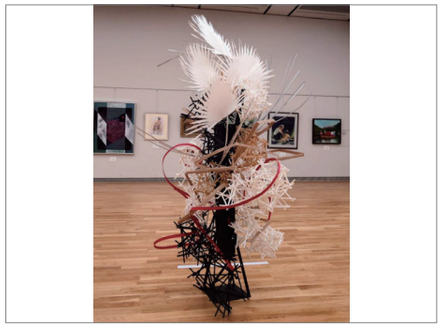
第67回全函館華道展

2023年1月18日〜23日
北海道／丸井今井函館店7階催事場
和賀紅草 他7名

6流派による合同新春華展に参加。大作は「来陽」をテーマに、力強い生命力を宿す静寂に陽が差す様を表現した。

松本市美術館友の会会員作品展

2023年1月18日〜29日
長野／松本市美術館
山田里楓



国宝級の絵画を扱う美術館のため、水のないいけばなに。「Sustainability」をテーマに紙ストローを使用し制作した。

第48回北國花展

2023年1月14日〜22日
石川／金沢エムザ
山田晴朝

前年に地震が頻発し、被害を受けた中での花展。新聞でも大きく取り上げられ、多くの賞賛の声をいただいた。

名古屋華道文化連盟 新春いけばな展

2023年1月17日〜22日
愛知／名古屋市民ギャラリー栄
草月6名　写真作品：花田真帆（左）・増田篁佳（右）

昭和5年に結成された華道文化連盟による花展。現在は48流派で運営。草月からは毎年6名ほどが出品している。

久留米市北野町「成人式・はたちのつどい」

2023年1月8日
福岡（久留米市）／北野生涯学習センター 大ホール
原千秋・堀内りつ子

成人式にいける。赤と金の帯を使った点が驚かれ、「なんでもいけばなになるね」と多くの方から感想をいただいた。

新春を祝う!!

2023年1月9日〜12日
埼玉／さいたま市民会館おおみや（RaiBoc Hall）
小堀香水

自作の陶器・鉄花器に、じゃのめ松、仏手柑、椿、割竹等で構成した正月花をロビーに展示。華やかで軽やかな空間に。

お正月花

2022年12月26日～2023年1月10日
奈良（橿原市）／ぼれぼれケアセンター白橿
徳本星佳・中牟田寧智・早川邦篁

和紙、墨汁、竹ひごを使って、卯年にふさわしいよう、軽やかに表現。前年のお正月花に続き、お楽しみいただいた。

ヘルスケアアート：医療施設ギャラリー・玄関に展示

2022年12月26日～2023年1月15日
神奈川／済生会横浜市東部病院
F.M.U.：柳沢香翠・石間星桜・大薗芳雪・金子翠生・加藤春和

病院のギャラリースペースに「円と結」と題した壁作品を、玄関に「笑う竹には福来る」という青竹の作品を展示。

老人ホームにクリスマス花

2022年12月18日～25日
奈良（大和高田市）／平沼寮
岡橋星友 他

新たな挑戦として、入所者の方々といける。計11作が並び、花の香りに包まれた幸せなクリスマスとなった。

子どもいけばな

2022年12月26日
徳島／めだか保育園
指導：出村丹雅草

ペットボトルで花器を作り、園児たちが正月花を楽しくいけた。園内で2日展示し、その後は自宅で飾られた模様。

花遊び2022

2022年12月17日・18日
北海道：札幌市民交流プラザ2階 SCARTSスタジオ1・2
グループフリーデル

グループ創立15周年を機に開催した花展。各々が個人作とリースを制作し、役員6名で2つの大作に取り組んだ。

第15回けやきの会作品展

2022年12月20日～22日
東京／大田区民プラザ 地下展示室
石塚月彩社中（根本早暁・猪狩萌彩 他2名）

合作に初チャレンジ。琴用の桐の端材などを使って制作。主催の役員の方から「撤去するのが惜しい」と言われた。

ウエルカムフラワー

2022年12月30日～2023年1月3日
高知龍馬空港
高知県支部

空港ビルから毎年依頼されるウエルカムフラワー。空港の利用者や働く方々から「素敵ですね」と直接お声がかかった。

正月迎え花

2022年12月30日～2023年1月8日
茨城（日立市）／吉田正音楽記念館
萩谷灑清・杉山貴彩（合作）

吉田正音楽記念館のエントランス（写真作品）と展望カフェに正月迎え花を。今回は例年より3日長く展示された。

2023有松イオン2階フロア正月花

2022年12月28日～2023年1月9日
愛知（名古屋市）／イオンタウン有松
広瀬典丈

ショッピングセンターの2階フロアに正月花を飾る。成人の日には箏曲発表会もあり、華やいだ正月の演出となった。

道の駅にいける

2022年12月29日～2023年1月10日
石川（七尾市）／道の駅 能登食祭市場
伊藤順桂・橋本豊芳

3年目となる道の駅での正月花の展示。旅行客をはじめ、大勢の皆さんの迎え花として制作している。

神殿にいける

2022年12月26日～2023年1月22日
愛知（名古屋市）／豊國神社
武藤虹水・美濃円虹 他

新年の初めのご祈祷や成人式向けにと依頼され、豊臣秀吉が祀られている神社にいけている。今回で3回目。

大作の正月花

2022年12月27日～2023年1月5日
徳島／アミコ専門店街・アミコ東館
徳島県支部 hey運営委員 他

毎年依頼を受けている正月花。大作を3作展示した。恒例となっており、写真スポットとしても賑わっていた。

クリスマスリース講習会

2022年12月4日
東京／ブリリア多摩センター エクササイズルーム
指導：小野口香翠

ためがきく生のさんごみずきの枝を使ってリースの土台を作り、枯れ花材で飾りつけを。楽しみながら制作した。

ムサ美埼玉「さいたま地区」小品展

2022年12月4日〜11日
埼玉／スペース つきのみちくさ
藤本遙染

入口に〝ウェルカムいけばな〟を制作。来場者参加型の展覧会で、おみくじやラッキープレートを楽しんでもらった。

真鍮を使ってクリスマス装飾

2022年11月29日〜12月23日
大阪／豊中東泉丘郵便局
神武祥染

年間通じて展示している郵便局でクリスマスの装飾。本部の公開講座で制作した真鍮作品をアレンジして使用した。

クリスマスリース作り

2022年12月4日
千葉（市川市）／行徳公民館
鈴禾（れいか）会

2回目となるクリスマスリース作り講座。前回ご参加いただいた方々からのご要望で開催した。

山中花回廊

2022年10月16日〜23日
石川／加賀地酒蔵辻酒販
伊坂千松 他4名

「ハロー夢夢（yumeyume）」と題し、ハロウィンをテーマに、ビニール風船とパンパスグラスで表現した。

みんなでクリスマス準備

2022年11月26日〜12月26日
千葉（浦安市）
川澄花穂

マンションを彩る。近所からも花材を調達し、みんなで少しずつ花材を変えながら、クリスマスを迎えた。

日南文化フェスティバル

2022年12月11日
宮崎／日南市文化センター
平澤沙香社中

ロビーの正面玄関に草月を含む4流派が出品。社中でクリスマスをイメージした楽しい合作を制作した。

受付にいける

2022年12月12日〜18日
宮崎／宮日会館
樋口南草

訪れる方々にクリスマス気分を味わってもらえるよう、綿やそてつを使って、動きのある作品とした。

第5回月翠会いけばな展 =正月の花・行事の花=

2022年12月7日〜10日
佐賀県立美術館 岡田三郎助アトリエ・女子洋画研究所
佐賀県支部 月翠会有志

5回目となる記念展。「正月の花・行事の花」をテーマに、テーブルコーディネートなども取り入れながら展示した。

山形県支部山形地区草月いけばな展「クリスマス・正月の花」

2022年12月10日・11日
山形県芸文美術館
山形地区会員

クリスマス、正月に合わせたいけばなを、各々の感性で華やかに、晴れやかにいけた。写真は役員7名による迎え花。

クリスマスリース・スワッグ作り体験会

2022年12月5日
千葉（市川市）／行徳公民館
主宰：スノーフラワー堀江祥雪

リースやスワッグで植物に触れ、作る楽しさを経験してもらい、草月に興味を持ってもらう機会になればと開催。

日本赤十字社医療センター華道部華道展

2022年12月6日〜8日
東京（渋谷区）／日本赤十字医療センター
指導：今村草玉 他

日ごろの練習成果を〝季節花をいける〟のテーマで発表してもらう。「院内で花展が見られるなんて」と喜ばれた。

狂言･善竹富太郎先生の三回忌に

2022年7月17日
東京（渋谷区）／国立能楽堂
横井紅炎

若手狂言師の善竹富太郎先生の三回忌追善の会場入口に善竹の竹をイメージした作品をいけ、故人を偲んだ。

鉄道開業150年 祝賀の花展

2022年10月14日～16日
群馬／ JR桐生駅
横塚麗霞

鉄道開業150年を記念して、駅構内でいけばな展が開催され、諸流派合同で華を添えた。

駅にいける

2021年8月19日～31日
宮崎／ JR日豊本線佐土原駅構内
坂元涛草

お盆過ぎの、残暑が厳しいころだったため、水を使わず、枯れ素材と異質素材で構成した。

中平美彦･陶うつわ展にいける

2022年6月29日～7月5日
東京（中央区）／銀座三越本館7階ジャパンエディション
諸岡萌舞

たくさんのひまわりで、明るく元気いっぱいの夏を演出。花がいけられていることで、お客様の器への興味を引いた。

CM撮影

2020年2月～
アメリカン･エキスプレスカードCM
大谷美香

クレジットカードのCMでいけばな装飾を担当。予約の取れない高級寿司店という設定に合わせた花をいけた。

実朝祭献華

2021年8月8日･9日
神奈川（鎌倉市）／鶴岡八幡宮
上原瑞光

神社や寺でお参りする前に手や口を清める手水舎を花々で飾る「花手水」をガラス花器と青竹で表現した。

第57回三高祭

2023 8/25～26

岩手県立盛岡第三高等学校
指導：古舘紫映

個人作の他、合作では「海」をテーマにした作品を展示。華道部では校庭のラベンダーをポプリにして来場者にプレゼントしており、毎回好評です。

文化祭

2023 9/2～3

東京都立八王子東高等学校
指導：山口霧香

コロナ禍による制限がなくなり、ようやく一般公開が可能に。華道部は個人作品と合作をあわせ、文化祭の展示部門で優勝しました。

学芸発表会

2023 3/10

東京／世田谷区立尾山台中学校
指導：大薗芳雪・松村魚瑛

コロナ禍で前年の秋に開催予定だった学芸発表会が3月に延期に。卒業を目前にした3年生は、たくさんの花材を使い、個人作をいけました。

文化祭での大作

2023 7/15～16

長野女子高等学校
指導：山崎恵美子

生徒自らが考えることを大事にしながら制作しました。手作りの花器を使い、枯れ花材や夏を象徴するひまわりで、いきいきとした表情に仕上げました。

中高生で活動

2022年度

東京（武蔵野市）／藤村女子中学・高等学校
指導：樋口翠翔

中学生1名、高校生2名で活動しています。華道のみでの存続が難しくなっていますが、部員は皆いい子なので指導は続けていきたいと思っています。

造形展に展示

2023 2/28～3/2

京都市立梅小路小学校
指導：石走俊桂

いけばな体験に20名の児童が参加し、造形展に作品を展示しました。4種類の花材から好きに選んでいけてもらい、皆自分の作品に満足そうにしていました。

花がつむぐ夢

第56回日本いけばな芸術展
9月27日〜10月2日
日本橋高島屋S.C.

第56回日本いけばな芸術展が開催。日本橋高島屋S.C.での開催は4年ぶりとなる。本展では、152流派676名の作家が多様な作品を展観し、草月流からは茜家元をはじめとした総勢75名が出品した。また、会期中には「こどもいけばな体験教室」も開催された。

1階正面ステージに展示された家元による迎え花。

（右）家元作品。（中）評議員の久保島一超さんほか、大吉昌山さん、村居昌稲さんらによる合作。（左）常任理事の加藤久美子さんほか、石川己青さん、坂口水恵さん、粕谷星華さん、大泉麗仁さんらによる合作。

観て、体感して

草月の秋2023
9月6日〜26日
玉川高島屋S.C

恒例の「草月の秋」が開催され、家元と、神奈川県支部、東京西支部、東京南支部の三支部による作品が玉川高島屋S.Cの館内を彩った。家元作品はくぐり抜けることができ、訪れた人々はやわらかな竹の表情を楽しんだ。

また期間中の9月14日から19日には西館のアレーナホールにて、東京南支部展が開催された。

家元による「遊（ゆう）・悠（ゆう）・友（ゆう）」

（左）東京南支部「天高く」。（中）東京西支部「BAMBOO SPIRAL -autumn-」。（右）神奈川県支部「サイクリング〜！サイクリング〜！！」

花の表現を授業に

女子美術大学特別授業
11月2日
草月会館

女子美術大学芸術学部アート・デザイン表現学科の特別授業を家元が行った。事前に草月いけばな展を鑑賞してもらい、気になった作品にタイトルをつけ発表してもらった。同じ作品を選んでも捉え方に違いがあり、鑑賞の楽しみを味わった。その後、家元がデモを披露し、いけばなの基本をレクチャー、各々で作品を制作した。迷わず自分の表現をする人、植物素材に苦戦しながらも楽しむ人など、活気あふれる授業となった。

戦後から現代のアート

平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで
11月2日〜5日
大倉集古館

日本の現代アートを国内外に紹介するアートイベント「アートウィーク東京」。その中の企画「平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで」に、初代家元・蒼風の作品が展示された。アーティスティックディレクターを務める保坂健二朗氏（滋賀県立美術館館長）は作品について「戦後、彫刻作品が生み出される中で、全く違う可能性を見せつけたのが蒼風」と解き紹介した。

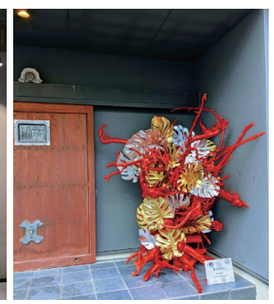
勅使河原蒼風《タイトル不詳》

温泉街を彩る

YAMANAKA花回廊 Part 19
10月22日〜29日
山中温泉

石川県・山中温泉の秋の風物詩、温泉街を彩る「山中花回廊」が開催。石川県支部や福井県支部の皆さんによる作品が、街の商店や旅館の軒先などに展示された。山中座広場ではひときわ目を引く竹のオブジェ「香箱カニ」が観光客を迎えていた。

草月アトリエによる「香箱カニ」



（左）石川県支部による「秋あがり」。（中）福井県支部による「廻」。（右）福井県支部による「秋の彼方に」

草月文化活動支援基金へのご協力ありがとうございます

2023年9月～10月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。（掲載は一万円以上、敬称略）

長束香川、齊藤亜紀、栂野恵秀、第12回藹の会いけばな展、茨城県支部、林萩赤、丹羽真由美、大阪支部、大東香炎、新田陛嘉、佐藤新泉、株式会社三共システム

訃報

大場千賀子（千芳）理事／東京都
二〇二三年九月二十三日
享年七十八歳

阿部紀子（琇扇）理事／千葉県
二〇二三年十月二十五日
享年八十二歳

オンライン機関誌公開中！
日本語、英語、両方でお読みいただけます。

草月指導者連盟会員サイトの英語ページにログインしてみましょう。オンライン機関誌のみの特典もご用意！

＜オンライン機関誌『So』12月号の特典＞

特別無料動画

中田和子講師 テキスト I-15「自由花__クリスマス」
中村草山講師 テキスト I-20、2-20「行事の花__正月の花」

＜クリスマス特別企画＞

茜家元が2022年9月にアメリカのボストンで行ったデモンストレーションの動画がご覧いただけます！
その他、福島光加講師のプラハ訪問、大泉麗仁講師のベルギー訪問もたくさんの写真と共にご紹介。定期掲載の本部講師エッセイには田渕章流講師が登場。古都金沢の草月の息吹を伝えてくれます。

会員サイトの日本語ページでは日本語版機関誌『草』のバックナンバーも掲載。会員サイトをフル活用してもっと草月いけばなを楽しみましょう。

追悼・多賀谷丹方さん

大阪教室の助手から本部講師へ
常に学び続ける姿勢を貫く

本部講師である多賀谷丹方（賀代子）さんが、2023年9月19日にご逝去なさいました。享年84歳。

家元より以下の言葉が捧げられました。

「多賀谷様は1957年に草月流に入門されて以来、60年以上にわたって熱心に研鑽を積まれ、本部講師、兵庫県支部長として、多くの後進を育てるとともに組織をまとめ上げ、草月流の発展に多大なご貢献をいただきました。いけばな作家としては、造形教室で培った繊細かつ独創的な造形力を発揮し、唯一無二の豊かな花の世界を生み出されました。本部講師就任後も研究科をはじめ様々な本部講座に足繁く通い、常に向上心を持ち謙虚に学び続ける姿勢は草月人の鑑でした。多賀谷様のお日様のような明るい笑顔が今も目に浮かびます。

花に向き合い、人に向き合い、いけばなとともに生きることを心から楽しまれた方でした。ご生前のお姿を偲びつつ、安らかなるご冥福を心よりお祈り申し上げます。」

阪神タイガースが大好きだった多賀谷さん。空の向こうで38年ぶりの優勝を見届けられたでしょうか。ご冥福をお祈りいたします。

●たがや・たんぽう
草月流師範会理事。兵庫県支部支部長を通算9年務める。日本いけばな芸術協会特別会員。兵庫県いけばな協会会員、西宮市いけばな協会常任理事副会長。1997年草月奨励賞、2001年、2005年、2008年AT賞、2007年勅使河原茜賞、2017年草月栄誉賞を受賞。

今なら、入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。
変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問合わせください。
原則としてお支払いはすべて現金のみとなります。

サブテーマ「線色塊」

2023年度は「草月ってなんだろう?」を深掘りするために
サブテーマ「線色塊」を設け、複数の授業で取り上げます。
創流100周年に向けて、草月いけばなの原点でもある「線色塊」と改めて向き合ってみましょう。

昨年の家元研究科では「歴代家元花器にいける」と題したデモが行われました。中央の写真は霞、右は宏の花器を使用した作品。

創流100周年に向けたテーマとして「草月ってなんだろう？—What's SOGETSU?—」を発表しました。（略）今年度はこのテーマをさらに深く掘り下げるため、「線色塊」というサブテーマを設けました。

「線」「色」「塊」は、いけばなを構成する三大要素です。『草月カリキュラム3』のテーマにもなっていますので、草月を習っている方であれば、きっと幾度となく耳にしていることでしょう。枝の伸びやかな線を強調したり、花の色をきわ立たせるために配色を工夫したり、花を密集させてボリューム感をもたせたりと、「線」「色」「塊」の三つの要素を意識しながら構成することで、作品はでき上がります。（略）「線色塊」を意識し、植物とじっくり対話してみてください。その結果、いつもとはまるで違う作品になることもあるでしょう。それこそがいけばなの醍醐味ですし、自分の表現の幅を広げるきっかけにもなるはずです。

『草』2023年4月号 P.2～3「だから、おしゃべりはやめられない」より

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。
感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。
※第11回AT賞展が開催されます！ 詳しくはP.29をご参照ください。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
2024年1月	26日	27日	29日	楽しんで —線色塊—	小沢清香
2月	16日	17日	19日	私の新たな花 —線色塊—	家 元

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料：12,200円（花材費込み）

「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を実施中です。

東京の本部教室から遠方にお住まいの方限定で、「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を **10月より** 実施しています。
新型コロナウイルスの影響などで本部から足が遠のいてしまっていた方、新規に参加したくてもできなかった方、この機会に本部家元研究科を受講してみませんか？
一歩前に踏み出し、感性・表現をさらに磨くチャンスです。あなたの挑戦をお待ちしております！

※割引対象の方には、『草』2023年8月号に割引券を同封しております。受講方法・料金など詳しくは割引券をご覧ください。

本部教室
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
2024年 1月27日 （土）	【色】 ビー玉を使って、 可愛い花器を創ってみませんか	 江口玉枝	ビー玉ってチャーミングですね。 透明感、色は色々、可愛い大きさ、コロコロ転がる……。 この面白いビー玉を、より楽しいものにしてみませんか？ 身近な「モノ」とコラボして。今回はみなさんご存じの「峠の釜めし」の器とビー玉を使って、チャーミングな花器を創りましょう。 この講座は2月にも続きます。ぜひご参加くださいませ。
2月17日 （土）	【線・色・塊】 重厚な木の構成 ―花器をはめこむ―		構成した木の中に、1月に創ったビー玉花器をがっちりとはめ込んで花材をいけます。木の構成とはめ込んだ花器が主役です。 枝はやや太めですので、インパクトドライバーを使います。 つねに花器のはめ込み位置を意識しながら、いつもとは異なる木の構成を楽しみましょう。

※1月のみ、2月のみの単発受講可。※2月のみご参加の方は、近しいサイズの器を教室内より選んで制作します（器の制作はできませんのでご了承ください）。

●授業時間：10時30分 ～ 16時　●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし
●申込資格：草指連会員　●定員：40名　●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。［郵便振替口座］口座番号：00180-6-119808 ／加入者名：（一財）草月会 教室運営課　※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④（お持ちの方は）メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります）　※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

本部特別技術講師・秋松伸一の講座1期生OB卒業展覧会

コロナ禍により3年延期となった1期生OBによる展覧会が、いよいよ開催です！　秋松先生への追悼の意も込めて、個人作と合作で成果を披露します。

【日時】12月15日（金）・16日（土）
10時～17時
【会場】草月会館2階談話室　入場料無料

お問合わせ［教室運営課］
TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

第11回AT賞展

2002年に茜家元の家元継承を記念し、家元のイニシャルより命名し創設された「AT賞」。家元研究科の在籍者の中から、最終選考を経た16名の受賞者が研鑽の成果を発表します。

【日　時】2024年3月15日（金）・16日（土）10時～17時
【会　場】草月会館1階プラザ　※入場料無料
【出品者】第19回・第20回AT賞受賞者

お問合わせ［教室運営課］
TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

第10回AT賞展の様子

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 ／ TEL：03-3408-1209 ／ FAX：03-3405-4947 ／ E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。
ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

2024年1月	火曜	16日　隅出美泉	23日　坂口水恵	30日　五十野雅峰
	木曜	11日　加藤久美子	18日　篠崎洵雅	25日　片山　健
2月	火曜	6日　加藤久美子	13日　隅出美泉	20日　篠崎洵雅
	木曜	1日　岡崎　忍	8日　五十野雅峰	15日　坂口水恵

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜　●10時30分／14時／18時（各日3回開講）　●入会金：11,000円
●月謝：12,040円（月3回分・花材費別）　※証書申請可能。　※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。
※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,500円・花材費込み／都度払い）。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

2024年1月	12日（金）　西山光沙	2024年2月	9日（金）　澤田晃映
	19日（金）　澤田晃映		21日（水）　西山光沙
	31日（水）　岡崎　忍		3月1日（金）　岩渕幸霞

●開催日は水曜1回、金曜2回　●18時（受付：17時30分～19時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：12,040円（月3回分・花材費別）※家元教室・家元研究科への振替ができます。　※証書申請可能。　※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。　※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,500円・花材費込み／都度払い）。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

2024年1月	15日　坂口水恵	2024年2月	5日　福島光加
	22日　石川己青		19日　坂口水恵
	29日　高木水染		26日　福島光加

●毎週月曜日　●10時30分～12時30分　●受講料：5,660円／1回（花材費込み。月4回目以降は5,300円）
※証書申請可能。※祝日は休講となります。

お知らせ　造形科 陶芸コース

本年度が、本部で作陶できる最後の機会です

長年愛されてきた草月造形科陶芸コースは、赤坂再開発に伴うアトリエ移転のため、来年度以降、本部での開講ができなくなりました。開校以来、今まで多くの方にご受講いただき、本当にありがとうございました。
今後、造形科陶芸コースは新たな形態で生まれ変わる予定です。どうぞ、ご期待ください。
過去に受講経験がある方も初めての方も、本部で作陶できる貴重な機会です。
花器だけでなく、オブジェなど、無形態な土に委ねて、あなたの創造の形を創ってみませんか。
個人で、社中で、お仲間で、ご参加お待ちしております。教室の雰囲気・講師紹介などは右上のQRよりご覧ください。

受講日	（原則月2回 火曜日、水曜日）12月19日、20日、2024年1月23日、24日、2月20日、21日

※12月までは、体験教室を受け付けています。2024年1月からは、過去に受講経験がある方のみ受け付けます。

●講師：飛松弘隆 ●授業時間：11時～16時　●受講料：体験レッスン15,000円（未経験者対象、1回のみ、焼成費・送料込み）、単発レッスン15,000円（過去受講歴のある方のみ、焼成費・送料別）　●申込資格：草月流学習者（入門の方からご受講いただけます）　●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレス ⑥受講希望日をご記入の上、「造形科陶芸コース」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。●申込締切：随時お申込みいただけます。

草月WEST　〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都一階／TEL：075-366-3647／FAX：075-366-3648／E-mail：west@sogetsu.or.jp

レッツ・トライ！デモンストレーション in 関西　―楽しく学ぶ・楽しく教える―

＜第2期基礎科＞2024年度開講決定！

講師	内容
講師： 勅使河原茜家元 助手： 五十野雅峰	草月ならではの華やかなデモンストレーションに挑戦しましょう！ 作品がゼロから生まれていく過程を効果的に表現することで、指導の場だけでなく、公共の場やイベントで披露すれば、いけばなを知らない方や海外の方にも、その魅力がダイレクトに伝わります。 いける技術だけでなく、正しい話し方や美しい仕草まで、家元の直接指導で笑顔と個性を磨く1年間。草月WESTでおこなう卒業発表会の舞台で、あなたの魅力を最高に輝かせましょう！

●日程　：（全8回／原則木曜日）2024年5月16日、7月18日、9月12日、11月14日、12月19日、2025年2月13日、発表会リハーサル：3月19日（水）、発表会：3月20日 ※日程は変更する場合があります。●授業時間：12時～17時30分（昼食休憩はありません）●受講料：前期110,000円／後期110,000円（半期分納制、花材費込み。発表会花材のみ別料金）●受講資格：草指連会員 ●定員：14名 ※お申込み多数の場合は先着順。●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「レッツ・トライ！デモンストレーション in 関西」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。●申込締切：2024年3月9日（土）

What's 自分　―自身の代表作に挑む！―

自分にとって最高のいけばな作品とはどのような物でしょう？
これまで沢山の個展やグループ展で作品を作ってきましたが、うまく自己を解放して「はぁ～出しきった～」となったとき、やっぱりその作品はとても愛おしく思えます。そしてそのような作品ほど、評価をいただくことができている気がします。
心の中にある「何か」をダイレクトに植物にのせて、ありのままの自分を表現しましょう。
もっと感情的に！もっと感覚的に！今最高の「私の花」を目指します。
本講座では沢山の花をいけます。毎回出しきってください。その先に、自分の心がのったいけばなが立ち現れます。

受講日（全3回）		講師	内容
第1回	2024年1月31日（水）	秋山美晴	【過去】過去の記憶を掘り起こし、記憶に正直な感情で花をいける。
第2回	2月28日（水）		【未来】自身の未来の姿を想像し、率直な気持ちで花をいける。
第3回	3月27日（水）		【今】現在の自分を見つめ、今の私をいける。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：40,000円（材料費込み）●受講資格：草指連会員 ●定員：21名　●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤（お持ちの方は）メールアドレスをご記入の上、「What's 自分　ー自身の代表作に挑む！ー」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。●申込締切：2024年1月10日（水）（ただし定員になり次第締め切ります）

―草月WEST家元教室いけばな展― 開催決定！！！

ゴールデンウィークの恒例となってまいりました「草月WEST家元教室いけばな展」を来年も開催いたします！
普段から草月WEST家元教室に通う生徒の皆さまが、日ごろの成果を発表するいけばな展。関西の本部教室ならではの作品群に刺激をもらえること間違いなしです！　いけばな展を鑑賞した後は京都旅行を楽しむ方も……。こぞってのご来場をお待ちしています！

開催予定日：2024年5月4日（土・祝）・5月5日（日・祝）　※出品者の募集は2月上旬を予定。

詳しい内容は草月WESTまでお問合わせください。

草月WEST　〒600-8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20-4 ホテルエミオン京都一階／TEL：075-366-3647／FAX：075-366-3648／E-mail：west@sogetsu.or.jp

家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。
新入会・再入会大歓迎。AT賞選考対象クラス。※1月は家元の担当です！

入会金・再入会金が不要

	金曜	土曜	―創流100周年に向けて― 草月ってなんだろう？	講師
	14時30分	10時30分/14時30分		
2024年1月	19日	20日	2027年の創流100周年へ向け、新たなテーマが掲げられました。 「私はなぜ花をいけるのか？」、「私が目指す植物表現とは？」、「私が追求したい素材は？」、「自由花って何？」これらの問いに対する答えを追求し続け、あなたにとっての「草月」を探求しましょう。	家 元
2月	16日	17日		竹中麗湖
3月	15日	16日		片山　健

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料（家元）：12,200円（花材費込み）／（本部講師）：10,100円（花材費込み）
●授業開始の20分前から受付を開始します。

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。
たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

※1月13日（土）は「茜家元と迎える新年の会2024」オンライン配信観覧席を設置するため、
1月11日（木）14時30分／18時30分、1月12日（金）10時30分／14時30分の開講となります。

2024年1月	金曜	11日（木）※ 岡本青珠	26日　石川己青	2月2日　中田和子
	土曜	12日（金）※　〃	27日　〃	2月3日　〃
2月	金曜	9日　加藤久美子	23日　岡本青珠	3月1日　五十野雅峰
	土曜	10日　〃	24日　〃	3月2日　〃

●月3回　金曜・土曜　●金曜（14時30分／18時30分）、土曜（10時30分／14時30分）　●入会金：11,000円　●月謝：11,000円（月3回分・花材費別）●申込方法 ： はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（4,500円・花材費1,700円／都度払い）。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
12月20日（水）	重厚感あふれる竹、わら縄、正月花の饗宴	隅出美泉	わら縄をふんだんに使い、竹とあわせてオリジナルの器・オブジェの形を探ります。 正月花としても使えるような造形を目指します。 花材が少なくても大丈夫。空間に広がるわら縄の線をいかし、自分だけの正月花を一緒に追求しましょう。
2024年 2月21日（水）	大胆に！ 草月WESTの空間から発想する床上がり作品をいける	州村衛香	草月WESTの足元はデザイン性の高い「墨モルタル」の床です。このモダンでおしゃれな床から発想する「床上がり作品」を考えましょう。 展覧会の作品作りにも応用できる床上がり、ご自分の表現力のバリエーションを増やすきっかけ作りにもなります。草月WESTの様々な花器を使って大胆にいけましょう！

●授業時間：13時～16時 ●受講料：4,400円（素材費別）●定員：隅出クラス20名・州村クラス20名 ●申込資格：草指連会員 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切：開催日の前々週の週末（ただし定員になり次第締め切ります）

年間行事予定

12月15日(金)・16日(土)	本部特別技術講師・秋松伸一の講座 I 期生OB卒業展覧会(草月会館2階談話室／10時～17時)
12月29日(金)～2024年1月8日(月・祝)	草月会館・草月WEST　冬季休暇
2024年1月13日(土)	茜家元と迎える新年の会2024(草月ホール・ホテルニューオータニ東京)
1月24日(水)	財団理事会(草月会館／11時～)
2月2日(金)	理事顧問昇格試験(草月会館)
2月4日(日)	理事顧問昇格試験(草月WEST)
3月1日(金)～6日(水)	第62回いけばな協会展(新宿髙島屋11階催会場)　※家元通期出品
3月15日(金)・16日(土)	第11回AT賞展(草月会館1階プラザ／10時～17時)
3月29日(金)	財団理事会(草月会館／11時～)
3月29日(金)	花に感謝の日(草月会館)

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。
12月16日(土)、2024年1月27日(土)、2月17日(土)、3月16日(土)　※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

フラワーク

とらや赤坂本店	12月	11月28日～12月26日	田中嶺紗	赤坂見附
	2024年1月	12月27日～2024年1月26日	橋爪千峰	
	2月	2024年1月27日～2月26日	中田芳聖	
ザ・キャピトルホテル東急		12月 Xmasツリー	倉田康治	溜池山王・国会議事堂前
		常設	杉岡宏美	
ホテルニューオータニ東京	ロビー階	12月31日～2024年1月14日	川名哲紀	赤坂見附・永田町・麹町
	宴会場階	12月30日～2024年1月14日	竹中麗湖	
	料亭千羽鶴	12月31日～2024年1月上旬	福島光加	
ホテルニューオータニ大阪	1階ロビー・宴会場階	12月30日～2024年1月15日	奈良県支部	大阪城公園・大阪ビジネスパーク・京橋
ホテルニューオータニ幕張	1階ロビー	12月29日～2024年1月11日	千葉県支部	海浜幕張
横浜ベイホテル東急	1階噴水	12月28日～ 2024年1月15日 正月花	御手洗直己	みなとみらい・桜木町
	B1階神殿口・神殿前	常設	御手洗直己	
横浜東急REIホテル	フロント階	11月13日～12月26日　クリスマス	深澤隆行	新高島・高島町・みなとみらい
	1階エントランス	12月28日～2024年1月上旬　お正月		
ラフォーレ原宿 GR8	2.5階	常設 店内装飾	飯岡湖武孜	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都	1階ロビー	12月29日～2024年1月上旬 ツリー	飯岡湖武孜	梅小路京都西
	1階エントランス2ヶ所	12月29日～2024年1月上旬　門松		
	笹屋伊織 別邸・3階ロビー	常設	高嶺一染	
玉川髙島屋S・C	本館1階・南館1階	12月29日～2024年1月9日	東京南支部	二子玉川
幕張メッセ「COUNTDOWN JAPAN2324」	入場ゲート正面	12月28日～31日(オールナイト)	倉田康治	海浜幕張
OMO3東京赤坂	1階ロビー	11月17日～　クリスマス	御手洗直己	赤坂見附
	1階ロビー	12月下旬～　お正月		
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		11月27日～12月8日	中村美梢	青山一丁目
		12月11日～22日	粕谷星華	
		2024年1月9日～19日	福永早苗	
		1月22日～2月2日	小沢清香	

本部主催支部研究会・講習会

島根県支部	12月10日(日)	講習会　松江市市民活動センター(スティックビル) 交流ホール	増本市子	☎ 0852-23-3648
千葉県支部	2024年2月4日(日)	研究会　草月会館	野村浩秋	☎ 043-291-1163
徳島県支部	2月4日(日)	研究会　ふれあい健康館	林春麗	☎ 088-678-2778
山梨県支部	2月11日(日・祝)	研究会　山梨県立青少年センター	鈴木千幸	☎ 055-263-5330
奈良県支部	2月12日(月・休)	研究会　草月WEST	福井靖星	☎ 0742-35-4432
東京西支部	2月18日(日)	研究会　草月会館	久保田芳生	☎ 042-521-1434
石川県支部	4月21日(日)	講習会　石川県女性センター	岡部弘邦	☎ 0767-28-2844
山形県支部	5月26日(日)	研究会　酒田市総合文化センター	土田紫蘭	☎ 0234-24-9148
北海道支部	9月(日程調整中)	講習会　(会場調整中)	伊藤遊	☎ 011-778-9603

支部展

愛知県支部展　「花と巡る歴史の舞台」(家元出品)	11月30日(木)～12月4日(月)　岡崎公園	竹口陽苑	☎ 0564-21-3197
兵庫県支部展　「はな・わたしの原点」	12月9日(土)・10日(日)　GALLERY北野坂	大向佐都	☎ 079-492-8918
栃木県支部展　「第52回とちぎ蘭展 特別展示」	2024年1月10日(水)～15日(月) 福田屋ショッピングプラザ宇都宮店	荒川映翠	☎ 080-5382-5962
東京北支部展　「連花と連歌」(家元出品)	2024年2月11日(日・祝)・12日(月・休)　シアター1010	秋山美晴	☎ 090-2256-5360

各地の展覧会

第6回「草月・アトリエ春」社中展	12月2日(土)・3日(日) お江戸上野広小路ギャラリー＋スペース36	平塚恵春	☎ 090-2235-1893
森林公園Harmony with Nature 「トゥーランドットXVI」	～2024年1月12日(金) 国営武蔵丘陵森林公園	金田紫星	☎ 090-8016-6598
いけばな草月流×無鄰菴 こんな椿をみたことがありますか？ レッツ・トライ！デモンストレーション in 関西1期生【KARAKU】グループ展	2024年1月26日(金)～28日(日) 無鄰菴(京都市)　※要入場料・予約優先	荒木香優	☎ 080-5781-5797
SYC東京1企画展「点々」	2024年2月24日(土)・25日(日) White Gallery(メイン会場)、ギャラリーマルヒ、Gallery KINGYO(いずれも文京区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp
第34回ぐるーぷ紅の会 いけばな展	2024年2月24日(土)・25日(日) やねのにっぽうホール豊川(プリオ5階)	西尾有浩	☎ 0533-84-2106
山形県支部山形地区草月いけばな展 「What's SOGETSU?」	2024年2月24日(土)・25日(日) 山形県芸文美術館(アズ七日町2階)	安達爽萩	☎ 023-623-2479
燦桃花(さんとうか) 百年の思いを馳せて桃の季節に贈ります	2024年3月19日(火)～24日(日) フルーツパーク富士屋ホテル	山田幸泉	☎ 090-5805-2063
吉岡幸曳社中展「草・想・創」	2024年3月23日(土)・24日(日) フルーツパーク富士屋ホテル	吉岡幸曳	☎ 090-3407-6631
草月いけばな肇友会展	2024年4月5日(金)～7日(日)　法輪寺(倉敷市)	尾髙肇江	☎ 086-428-5549
「装」　よそおい	2024年4月12日(金)・13日(土) 株式会社錦や 新感覚の染と織(中央区)	畠山知香	☎ 090-2305-9432

カレンダーに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。
[出版部 編集制作室] TEL:03-3408-1158 ／ FAX:03-3405-4947 ／ E-mail:info@sogetsu.or.jp